

| | |
|---------|---------------------|
| 事業名: | 新型コロナ禍における緊急被災者支援事業 |
| 資金分配団体: | 公益財団法人佐賀未来創造基金 |
| 実行団体数: | 14 団体 |
| 実施時期: | 2021年2月～2022年2月 |
| 事業対象地域: | 九州全域 |
| 事業対象者: | 災害支援団体 |

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

| リスク要因の把握と対処：事業実施上想定されるリスク要因 (組織外、組織内) | 状況の把握方法 | 想定する対応方法 |
|--|--|--|
| ・実行団体の事業進捗への影響として、コロナ禍の拡大・継続による支援活動の再現、新たな災害発生による活動内容の変更 | ・国、県・市の方針を注視し、それぞれの指針を確認することと、災害情報を事前に取得 | ・コロナ対策として、早期にガイドラインを作成し、行政、社協と合意をすることで、実行団体の県をまたいだ活動制限へ対応する ・新たな災害については、仮に実行団体そのものが被災した場合は、他の支援団体と連携し支援をしながら事業継続を図る |

II. 見直し後*の事業実施で達成される状態（アウトプット） 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

| 今回の事業実施を通じた目標 | 実施・到達状況の目安とする指標 | 把握方法 | 目標値/目標状態 | 目標達成時期 |
|--|---|---|--|-----------|
| "①コロナ禍における被災者支援の推進 ②企業等のボランティア参加の仕組み ③ボランティア・物資支援等のための仕組み支援" | ・本事業を通じ支援した被災者数 ・ボランティア登録の企業等の団体数 ・災害物資支援に賛同登録した地場企業数 | "・支援した被災者数のカウント ・登録企業・団体のカウント ・登録企業のカウント" | "・助成団体15×1団体延100人=1,500人 ・各県5社の登録：35社以上 ・各県の支援団体と企業等の登録40団体以上" | 2022年2月末日 |

*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後(*)の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び 目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

| 事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 | 実施・到達状況の目安とする指標 | 把握方法 | 実施時期 |
|--|-----------------|------|------|
| "緊急性をともなう地区での被災者支援ができていく状態 助成団体を中心とした新しい九州内で災害対応のネットワークができていく状態 コロナ禍における新しい生活様式にあわせた災害ガイドラインや、接触をさけた登録、ルール作りができていく状態 各県で災害や防災復興への支援活動が現状よりも進み、生活再建につながっている状態" | | | |

*実行団体の事業計画等から見直した結果